

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ジョイール千葉大前		
○保護者評価実施期間	2026年2月3日		～ 2026年2月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17 (回答者数)	10
○従業者評価実施期間	2026年2月3日		～ 2026年2月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9 (回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月2日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多種多様な専門性を持った職員が在籍している	朝会にて職員間で支援内容を共有し、各職員から意見をもらう取り組みをしている	朝会にて意見がまとまらなかったときには別日で支援会議を開き、内容について深掘りできる機会を作る
2	学習支援のために、認知機能強化につながる教材を使用して支援をおこなっている	コグトレは段階があるので、利用者さんそれぞれに合った課題を提供できる 保護者からの聞き取りや、利用者さんの現状の様子を見てできることや苦戦することがあれば柔軟にプログラムを変更することができる	コグトレで培ったことを定期的に実際の行動に結びつけることで今どこまで育っているのかをモニタリングする。
3	学習支援のほかに、微細運動を取り入れた支援を必要としている方には個別で対応している	手先の不器用さから書くことが嫌いになってしまう利用者さんに対して、微細運動のできる課題を個別で用意し、様々な内容から手先のコントロールのしやすさにつながる課題を行っている	目的が、書くことなのか箸を持つことなのかを整理して段階に合わせて支援内容を調整していく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施報告が簡易的になっていたこと	保護者からの支援に関する相談をLINEや電話のみで行っていたこと	保護者からの要望を確認し、要望をもとにご家族の方が参加できる会を検討していく
2	保護者同士の交流の機会、きょうだい同士の交流の機会を確保できなかったこと	保護者からの要望を確認できていなかったこと	ジョイールで開催できる場を検討していく
3	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施報告が簡易的になっていたこと	支援記録に実施報告の記載を簡易的に記載していたこと	支援記録に簡易的に実施報告を記載するのではなく、LINEを通して保護者に避難訓練の実施報告をお伝えしていく

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ジョイーレ千葉大前
------	-----------

公表日 2026年3月30日

利用児童数 17

回収数 10

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7	2		1		集団で体を動かす遊びを行うときには、机をはじめに寄せる、グループ分けをして人数を分散するなどの配慮を行っていきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	9			1		規定に定められた人員配置で支援を行っております。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8			2		通所してからの流れを記した掲示物や、本日のスケジュールがイラストと文字で表示したもので利用者のみなさんに伝えています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9			1		毎日玩具の消毒や室内の掃除を行っています。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10					毎日朝の会議で支援の内容を相談しており、保育士、児童指導員、理学療法士、心理担当職員、児童発達支援管理責任者の各分野から専門的な話し合いをしています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10					事業所での会議のほかに、保護者とのモニタリングの実施から計画を作成しております。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10					各支援ごとに具体的な支援内容を記入しております。支援員にも意見をもらいながら支援を実施しております。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10					支援するときには、個別支援計画を確認して支援内容から抜粋した活動を行っています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10					利用者様の特性や性格、好きなものを踏まえて活動を提供しています。様々な資格を持った職員が関わることで固定化しないことを心がけています。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	1		4		放課後クラブや児童館との交流はできていませんが、公園に遊びに行った際には、地域のお子さんとかかわりを持つ機会があります。
保 護 者 へ	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10					事業所の見学の際に、ご利用ガイドからご説明させていただいております。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9		1			適時、面談等で説明をさせていただいております。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	2	2	4		今年度は家族会の実施が難しかったため、来年度検討してまいります。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	10					支援記録に毎回お子様の様子を記録させていただいております。そのほか体調面で気になるお子様に関してはLINE等でご連絡します。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9		1		近いうちに面談かお電話でお話ししたいと思っています。	ご意見ありがとうございます。面談やお電話、そしてオンラインなども対応しております。お気軽にお問い合わせくださいませ。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10					ご本人や保護者様の意向や個別支援計画をもとに支援をおこなっております。

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		2	2	6	今年度は家族会の実施が難しかったため、来年度検討してまいります。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10				ご相談があった際には、お話を聞きし事業所で対応可能かを考えてからお返事をさせていただいております。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10				思春期のお子さんは親御さんに悩みを話すことが難しいこともあるので、事業所が間に入って聞き取りするなど、ご家庭の状況に合わせて対応させていただいております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9	1			
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9			1	大事な書類は、鍵付きの書庫に保管しております。
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6			4	各種マニュアルはご利用ガイドに記載させていただいております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6			4	月に1回は防災訓練の実施をしています。実施後には支援記録にお知らせしています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6	2		2	避難場所の周知や避難訓練については、適時お知らせしております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9			1	ケガや事故があったときには、保護者様に速やかに連絡し、対処したことも共有させていただいております。
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	10				引き続き、安心して通所できるような環境を整えてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	8	2			引き続き、楽しんで通ってもらえるようなイベントや活動内容をスタッフ一同考えてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	10				引き続き、利用者様や保護者様と連携をとりながら連続性を意識した支援を行ってまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ジョイール千葉大前		公表日 2026年3月30日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	2	・個室なども使い、静かに集中出来る場所も確保している ・机の数が足りない場合は個室を使用するなど、必要な配慮ができるように環境設定をしている	・机の数がならず、座って学習できるスペースがない場合がある
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	2		・職員が少ないため1人1人へのサポートが行き届いていない ・法定基準はクリアしているが、やはり支援の質向上や記録の精度を上げるために、支援員の増員が必要と思われる曜日もある
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		・絵カードを使った情報伝達。必要な玩具、文具の配置を明確にするため、種類ごとにケースに収納するなどの配置を考えている ・おもちゃの棚に布が覆われていることにより、学習の際に、情報を遮ることができる ・インクルージョンを意識したスケジュール表の掲示をしている。ひらがなと絵カード時計を記すことでどんな子が見ても理解できるようにしている	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	2	・職員で役割を分担している	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		・個室に入りたいと希望する児童は、個室でのコグトレ、宿題をしている環境が整っている	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		・月に一度業務改善の有無をアンケートにて確認している ・全職員が支援経過記録を記入することで、何ができて、できなかったかを明確に知ることができている ・朝会での児童の情報共有もできている	・引き続き、朝会以外の場面でも職員の意見が出せる場を作っていく
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2		・ご意見があった内容については、真摯に受け止め改善できるかを職員間で相談する
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・月に一度業務改善の有無をアンケートにて確認している ・朝礼で意見を共有する時間を設けており、HUG、支援経過記録など、全職員が見れる環境が整っている	・朝会の時間以外にも情報共有ができる時間が設けられるかをスケジュールを調整する
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	5		・第三者による外部評価は実施していない
10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	・研修動画を通して、全職員が適切な支援を行える体制ができています ・研修動画を通して、一人一人の児童に必要な支援を確認することができた	・事業所内で、研修を受ける時間を取れる人と取れない人の差が激しい ・法定研修のほかにも、ジョイールグループの中で交流研修を行うなどして、スキルの向上につながる研修を今後行っていく	
11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		・朝会では各自個別支援計画を開いて計画を確認している		
12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		・保護者との面談を通して、ニーズを確認する体制ができています ・児童が発達支援に到達したと職員同士で考えた場合は、計画を次にステップアップする体制ができています		
13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		・LINEやHUGを使い共有されている ・新しく児童発達支援計画が全職員で意見を共有、意見に対する書き込みを行う機会が設けられている		
14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		・計画で決めた目標を達成するために、支援での基盤を考えることができている ・支援計画は職員みんなが閲覧し確認できる状態となっている		
15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		・職員間でリスクスクリーニングを行うことで、多角的にリスク管理ができています		

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		・計画案には、必要な内容を取り入れて支援できるように設定している	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	・朝会にて毎日、共有、確認している ・活動プログラムにおいて、全職員が統一して行うべく支援の方法について考える機会ができています	・朝会の時間のほかにも支援内容について話し合える時間を作る
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		・職員が固定でついているが、時々支援員がお休みになったときに臨時で対応する際に気づいた点を職員間で共有することができている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		・集団活動では、なるべく児童間での関わりを増やすように、サーキット、動画を通したダンスなど全児童が同じ時間で楽しめる工夫をしている	・利用者の目標によって配慮の仕方が異なるのでそれぞれに合った、個別対応、集団でのかわり方に留意する
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		・朝会において、ヒヤリハット、本日の支援発表をする場を設けていることで、前日にやった児童の様子を振り返るとともに、やるべきことしないほうがいいことなど支援について話し合う場ができています	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	5	2	・1日1回朝のみ振り返りや共有 ・支援終了後は、支援経過記録の記入をしている。その日児童が、できたこと変化について書くことで、次の支援すべきことを共有する場ができています	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		・HUGや支援経過記録をその日にとるようにしている ・少しでも感じた児童の変化をそのまま保護者や職員に共有している	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		・児童支援計画の目標においては、ある程度達成したと感じた際は、児発管や支援員に朝会で発表する場を設けている ・計画モニタリング時期ではないが、月に1回程度利用者の課題の達成度を確認する機会を作っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	4	3	・地域交流の機会に関しては、お買い物体験にお店屋さん、年始の初詣の際に地域のお寺とかかわるなどしている	
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		・その日のイベントを職員が決めるのではなく、子供が「今日やりたい」と考えたものに寄り添っていくようにあらかじめ複数の案を用意している ・自立通所の支援では、自立に向けて本人にヒアリングして「やりたい」という自己選択をしてきた際に保護者に相談し、支援に取り入れている	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		・関係機関との連携の場にはできるだけ出席している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		・訪問支援などを通して、事業所内ではなく、学校や地域など外での課題を知ることができる	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		・学校には年度初めにご連絡をさせていただき、お迎えに行かせてもらう旨を共有している ・保護者にも協力してもらいながら情報共有に努めている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	2		・まだ卒業して障害福祉サービスを使用することに携わっていない
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	1		・機会がある際には連絡をとり、アドバイスをもらいたい
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	4	・支援内容に外遊びも含めている	・送迎の際に他の児童と関わる場面もあるが、交流する場面はあまりない
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	4		・現在はまだ参加したことが無いので、参加できるように調整したい
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		・HUGやLINEで報告は密に行っている ・HUGを記入することで児童のようすをそのまま伝えるようにしている。また、保護者からいただいたコメントを通じて、保護者のニーズを知ることでもできている		

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	4	・保護者からのご相談には、様々な方法でサポートできる体制を整えている	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	1	・見学の際には説明している	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		・面談の際に、利用者の姿のすり合わせや目標の変更が必要な場合、どんな希望があるかなど聞き出している	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		・同意をいただけた場合、サインをしてもらっている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		7		・可能な環境と実施できる日程を確保して周知したい
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		・LINEにてご連絡があったときには、担当職員からお返事できるように対応している	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	2		・ブログにて情報発信するとともに、ジョイーレでの活動の様子が伝わる方法を模索する
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	1	・個人情報取り扱いの注意の研修を行っている ・個人情報については、鍵付きのロッカーに入れている ・プリント印刷されたものにはシュレッターにかけて、外部に漏れることのないように徹底している	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		・視覚支援の中でも、具体物が写真、絵カード等の使い分けは柔軟に行っている	・保護者からの情報提供をもとに連携を図っていく
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5		・現在は行事に地域の方を招待していないので、今後検討していく
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		・事業所内で、月に一度、防災訓練、地震訓練を実施している	・不審者訓練に関しても今後実施していきたい
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		・避難バックなど中身を定期的に見て、賞味期限を確認している	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7		・児童にてんかんなどが起こった際に、薬の場所や服用の方法について確認する時間を設けている ・必要な対応をマニュアル化している	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		・必要な対応を与薬指示書を保護者からいただき、職員に周知している	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1	・引き渡し方法や引き渡し可能な保護者の名前を控えておき、安全に引き渡しができるようにしている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		・毎朝の確認事項としている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		・定期研修の中に組み込んでおり、虐待を防止するための意識は常に高く持てるようにしている	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	1		・まだそのような事案はありませんが、身体拘束が必要なことがあった際は、計画に入れることと保護者へ十分な説明を徹底する	